

ムーミンたちの、優しくてちょっと不思議な世界へようこそ!!

©Moomin Characters™

MOOMIN

ムーミンハウス をつくる

組み立てガイド

3





1階の壁枠と



調理ストーブ、ステップスツールを組み立てる



<http://deagostini.jp/app/moo/>

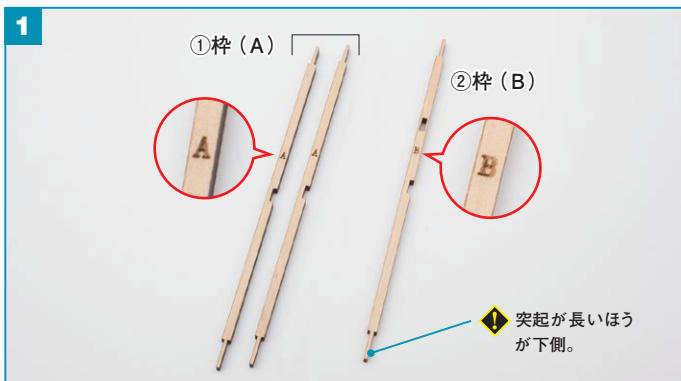


使う道具

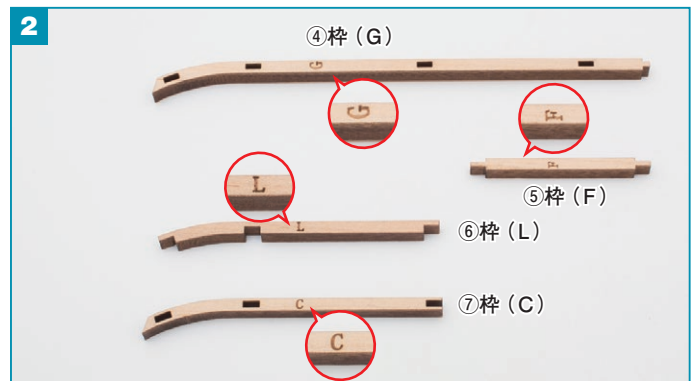
- 木工用ボンド
- 瞬間接着剤
- 紙ヤスリ (240番)
- カッターナイフ
- ようじ
- カットングマット



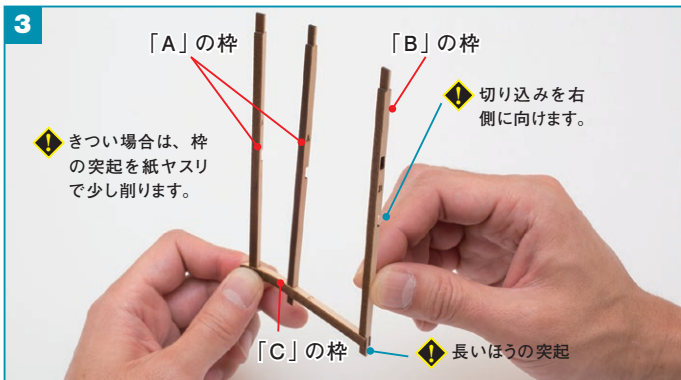
1階の壁枠の組み立て



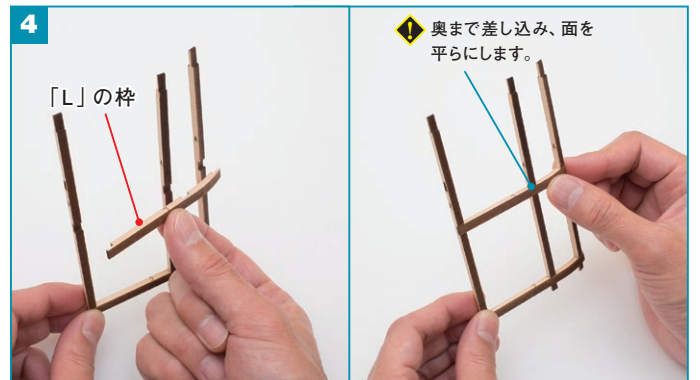
① 枠 (A) と ② 枠 (B) は、縦枠になります。「A」「B」のマークを目安に向きに注意してください。上端と下端では突起の長さが異なります。



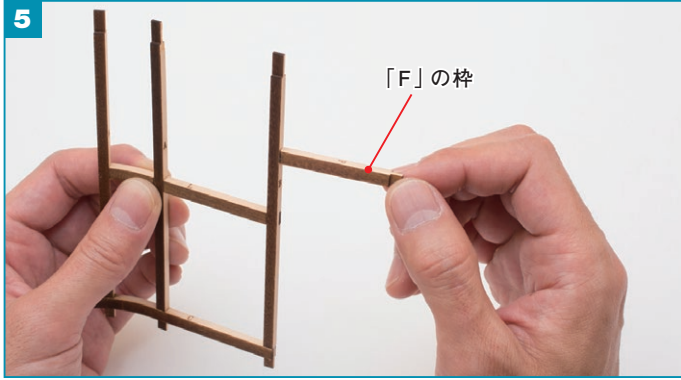
④ 枠 (G) は上段の横枠、⑤ 枠 (F) と ⑥ 枠 (L) は中段の横枠、⑦ 枠 (C) は下段の横枠になります。



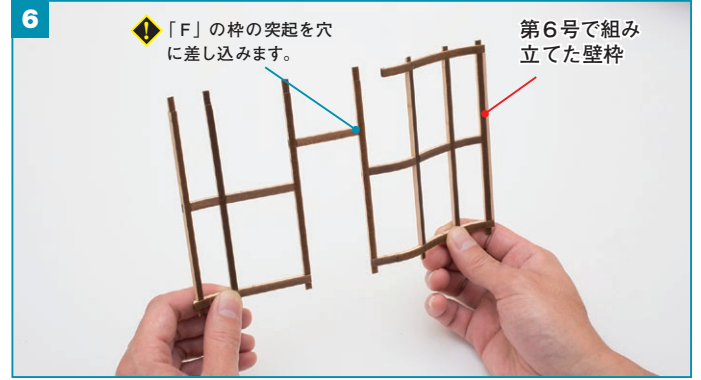
「C」の枠に、写真のように「A」「B」の枠をボンドで接着します。「A」「B」の枠は、長いほうの突起を下側にします。



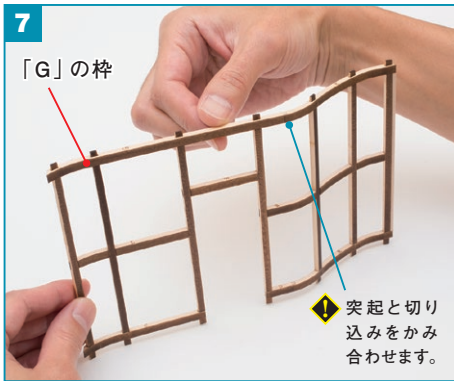
③を裏返し、「A」「B」の枠の中段の切り込みに、「L」の枠をボンドで接着します。切り込みをかみ合わせて奥まで差し込んでください。



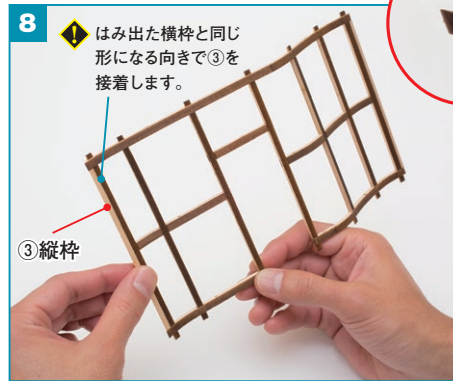
4を裏返し、「B」の枠の穴に、「F」の枠をボンドで接着します。突起にボンドをつけてから、穴の奥まで差し込んでください。



第6号で組み立てた壁枠を用意し、「F」の枠の右側にボンドで接着します。



壁枠の左上側に、「G」の枠をボンドで接着します。



7までに組み立てた枠の左側からは、横枠が少しはみ出ています。この部分に③縦枠を接着して、面を揃えます。縦枠を当てて確認し、はみ出した横枠と同じ形になる向きを探して、ボンドで接着します。



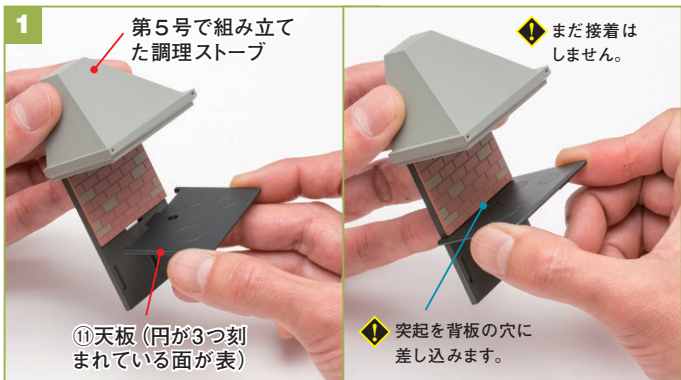
今号の
完成



第8号では、1階の残りの部分、ダイニングルームとリビングルームを仕切る壁枠を組み立てます。



調理ストーブの組み立て



第5号で組み立てた調理ストーブを用意し（煙突は外します）、⑪天板を組み合わせます。天板の突起を背板の穴に差し込んでください。



天板が外れないように押さえたまま、第5号の煙突を写真の向きでフードの内側に入れ、上端の突起を背板の穴に差し込みます。

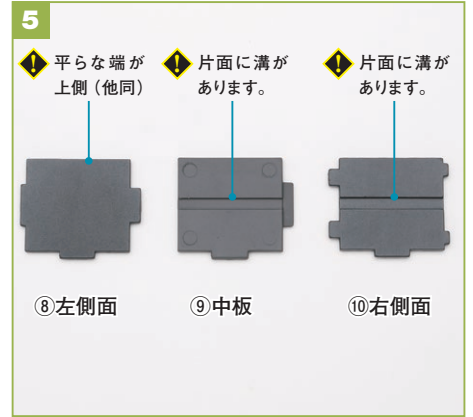


煙突の下端をずらし、天板の穴に収めます。



⚠ 天板の裏側にも瞬間接着剤をつけます。

天板と煙突が外れないように押さえたまま、煙突を差し込んだ穴に、ようじの先などで少量の瞬間接着剤をつけます。



⑧左側面、⑨中板、⑩右側面を写真のように並べ、形を確認します。



⑩右側面
(溝が内側)

⚠ 天板の突起にピッタリとつきます。

調理スリーブの右側に、⑩右側面を差し込みます。2つの突起を背板の穴に奥まで差し込んでください。



⚠ 瞬間接着剤は、所々につけるだけで固定されます。

⚠ 背板との接点にも接着剤をつけます。

天板や側面がずれないようにしっかりと押さえたまま、側面と天板や背板の接点に、ようじの先などを使って少量の瞬間接着剤をつけます。



⚠ 中板は、⑨で棚板を組んでから接着します。

⑨中板
(溝が右側)

⑥と同じ要領で、⑨中板の突起を背板の穴に差し込みます。

動画を見るとわかりやすい!!



の作り方動画もWebで公開中!

※ 42ページのURL、またはQRコードからご覧ください。



かごに入れる裁縫道具をつくりましょう Vol.2



第6号40ページに続き、第3号付属の「かご」の中に入れる裁縫道具の作り方を紹介します。今号は、ハサミとレースです。

材料

- レースリボン (薄いもの) (約7~8mm幅、長さ約8cm)
- 付箋など少し厚みのある紙
- 手芸用ワイヤー (直径約0.5mm、長さ約5cm)



使う道具

- 木工用ボンド
- 瞬間接着剤
- ハサミまたはニッパー
- ペンチ

ハサミの作り方

手芸用ワイヤーをハサミまたはニッパーで半分に切り、それぞれの先端にペンチで直径約2mmの輪をつくり、輪の反対側に1cmほど残して切ります。同じものを2本作り、真ん中あたりで交差させてねじり、瞬間接着剤で固定します。

レースの作り方

レースリボンに木工用ボンドを塗ってほつれるのを防いでから、約2mm幅に切り、二つ折りにした付箋などの紙を約5×8mmに切り、レースを巻きます。2周ほど巻いたらレースを切り、端を木工用ボンドでとめます。

完成



第6号と今号で作り方を紹介した裁縫道具を、第3号付属のかごに入れて完成です!



右側面と中板の溝に、⑫棚板を奥まで差し込みます。中板を棚板側に押しつけて隙間ができないように押さえながら、⑦と同様に、瞬間接着剤をつけて固定します。



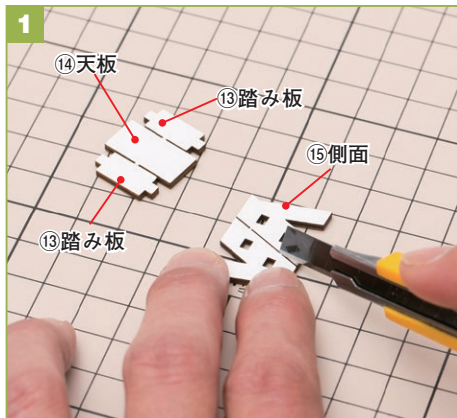
⑥～⑦と同じ要領で、⑧左側面を接着します。



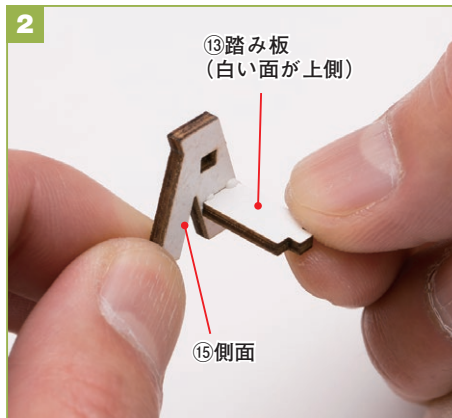
⑩までに組み立てたストーブを、第6号で組み立てた底板と組み合わせます。突起を底板の穴に差し込み、底側から突起の周囲に瞬間接着剤を少量つけます。



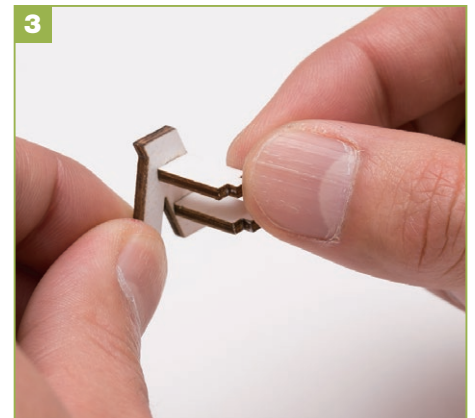
ステップツールの組み立て



⑬踏み板2枚と⑭天板、⑮側面2枚の継ぎ目を切って外します。切り口は紙ヤスリをかけて平らにしてください。



⑬踏み板の突起にボンドをつけてから、⑮側面の穴に差し込みます。はみ出たボンドはようじの先などで取り除きます。



②と同様に、側面の残りの穴にもう1枚の踏み板をボンドで接着します。



反対側に、残りの側面をボンドで接着します。



⑭天板の白い面を裏にして置き、中央に④までに組み立てたブロックをボンドで接着します。

今号の
完成

次号で前板などを取りつけ、調理ストーブを完成させます。

ステップツールは、後の号で茶色に塗ります。



※ 保管のポイント

組み立て前や組み立て途中のハウス・家具パーツは、エアキャップなどにくんで、個別に箱に入れるなどして保管するとよいでしょう。



1階の壁枠と



調理ストーブを組み立てる

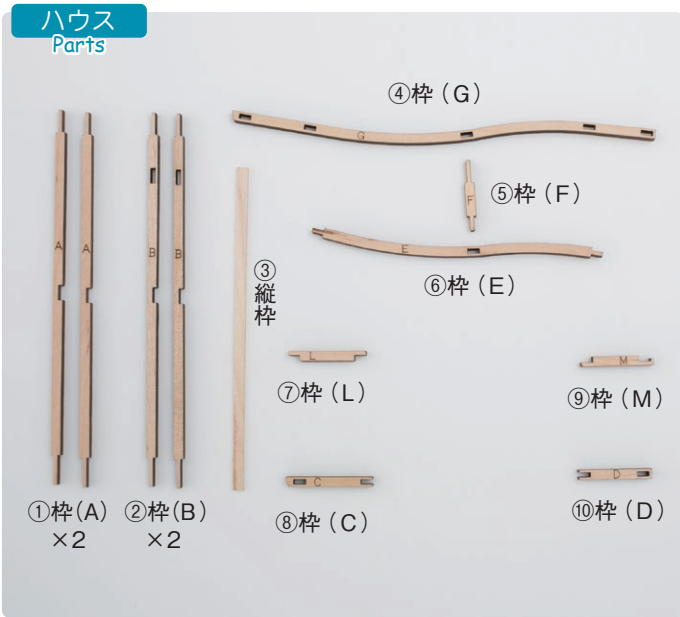


組み立てのコツが満載!

組立サポート
動画を
チェック!



<http://deagostini.jp/app/moo/>



フィギュア

⑭ スノークのおじょうさん

使う道具

- 木工用ボンド
- 瞬間接着剤
- 紙ヤスリ (240番)
- ようじ

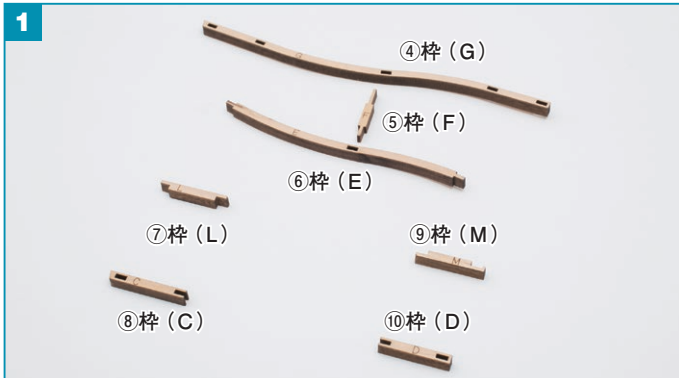
あると便利な道具

- ピンセット

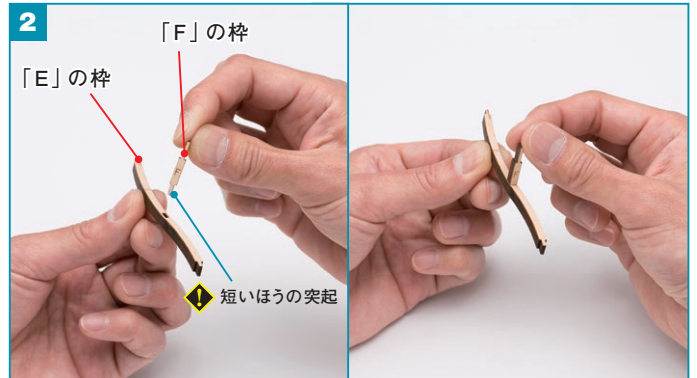
⑬ フィギュア用両面テープはフィギュアを立てる際に、足の裏の形に合わせて切ってお使いください。



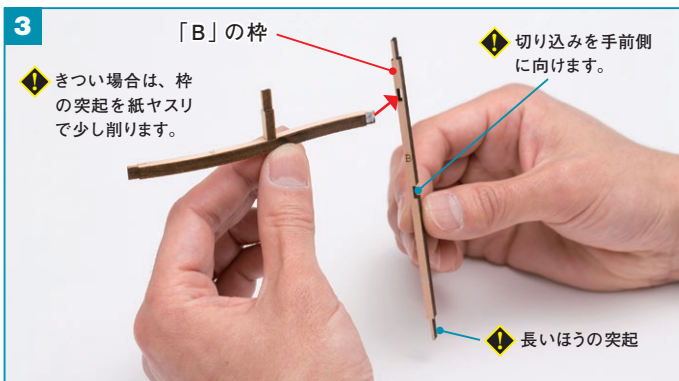
1階の壁枠の組み立て



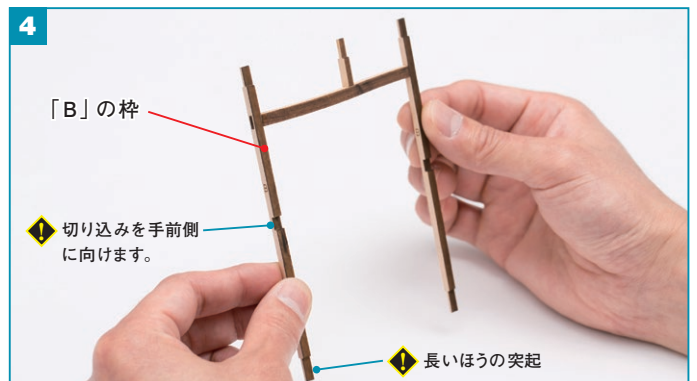
④～⑩枠 (G、F、E、L、C、M、D) は写真の位置関係で組み立てます。各パーツには「G」「F」...「D」と刻印されているので、確認して作業しましょう。



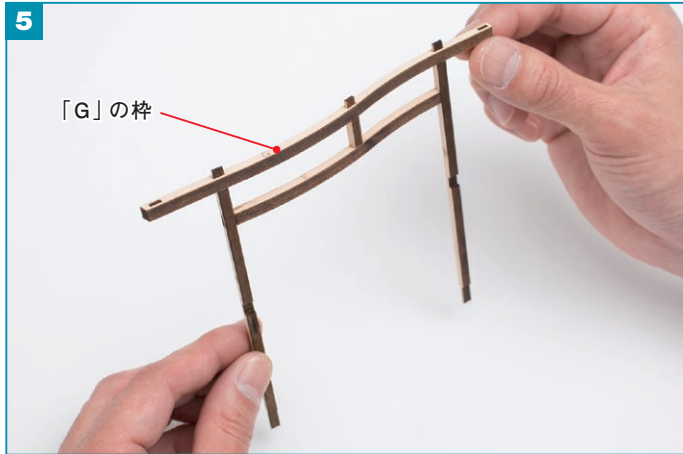
「E」の枠に、写真のように「F」の枠をボンドで接着します。「F」の枠は、短いほうの突起を下側にします。



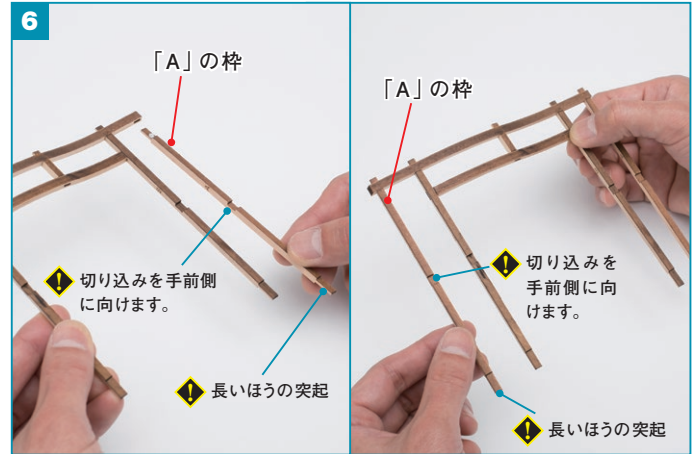
「E」の枠の右側に、写真のように②枠 (B) をボンドで接着します。「E」の枠の突起にボンドをつけてから、「B」の枠の穴に差し込みます。



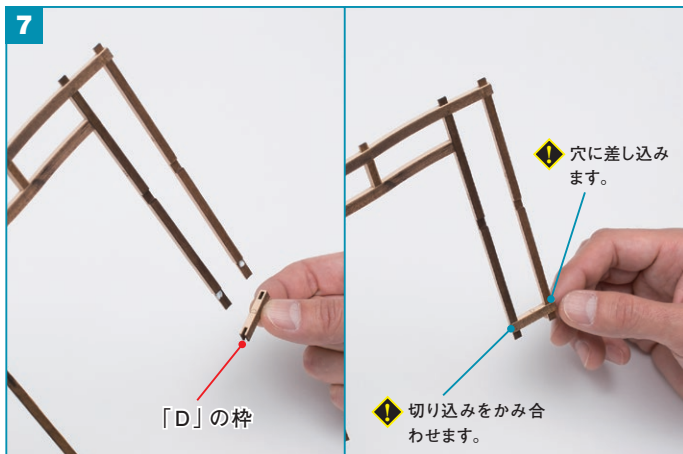
同じ要領で、「E」の枠の反対側に、残りの「B」の枠をボンドで接着します。



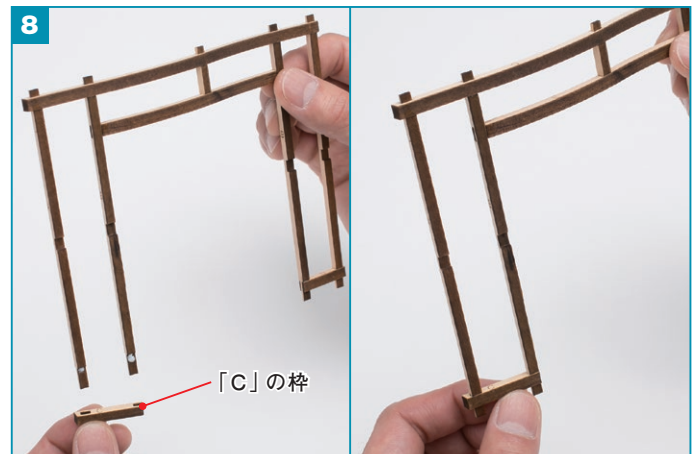
4で組み立てた枠の上側に、「G」の枠をボンドで接着します。



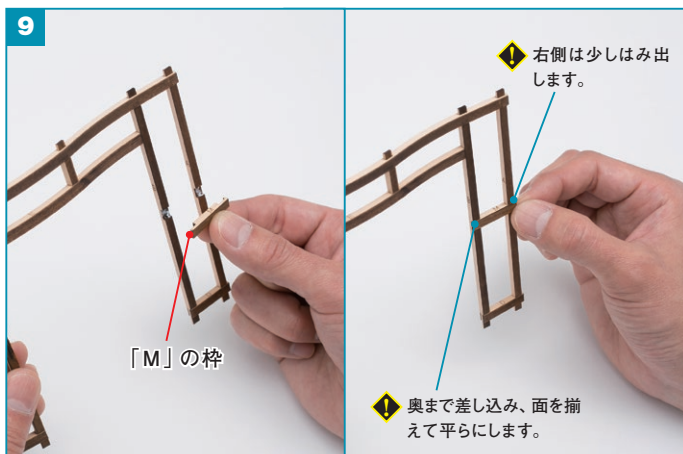
「G」の枠の左右両側に、写真のように①枠(A)をボンドで接着します。「A」の枠の突起にボンドをつけてから、「G」の枠の穴に差し込みます。



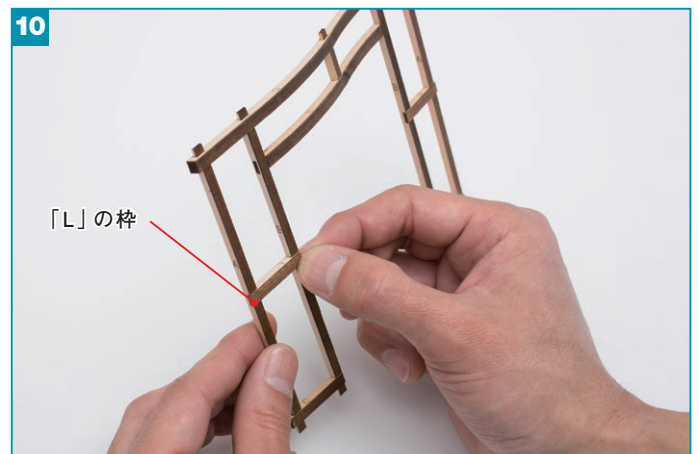
6までに組み立てた枠の右下に、「D」の枠をボンドで接着します。



同じ要領で、左下に「C」の枠をボンドで接着します。



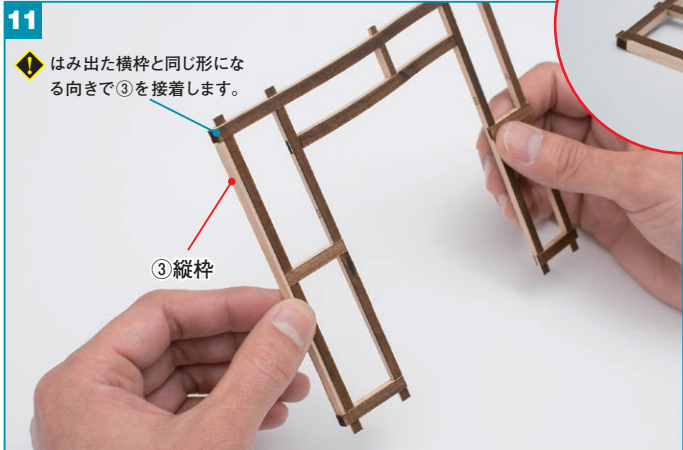
8までに組み立てた枠の右中段に、「M」の枠をボンドで接着します。



同じ要領で、左中段に「L」の枠をボンドで接着します。



今号の
完成



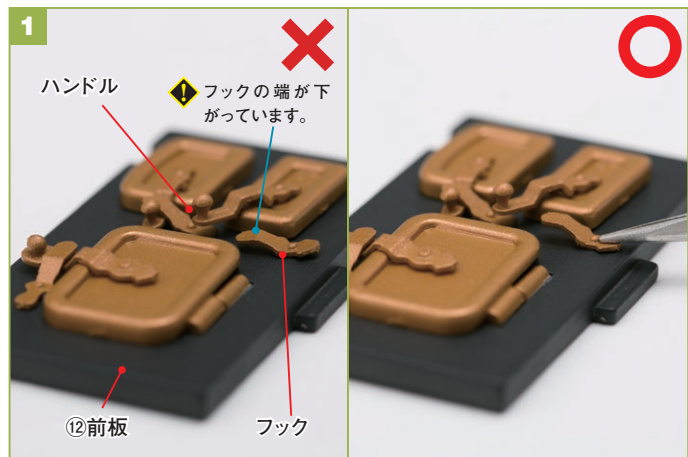
10までに組み立てた枠の左側からは、横枠が少しはみ出ています。この部分に③縦枠を接着して面を揃えます。縦枠を当てて確認し、はみ出た横枠と同じ形になる向きを探して、ボンドで接着します。



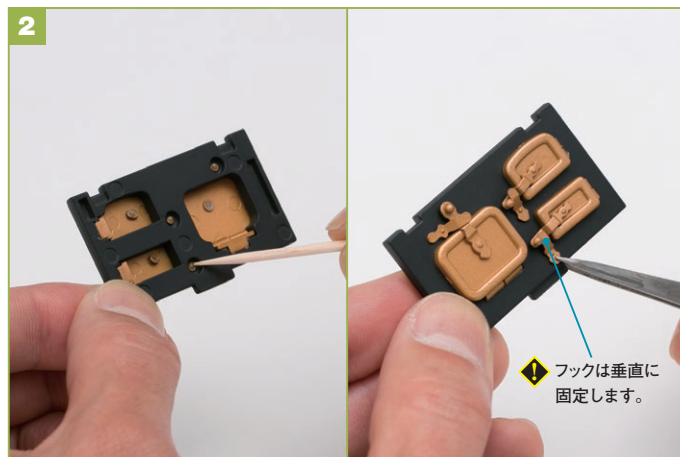
これで1階の壁枠が揃いました。次号からは、壁枠に壁板をつけていきます。



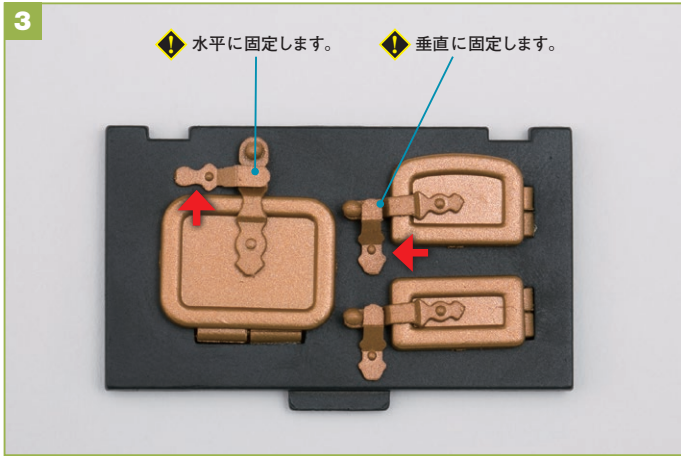
調理ストーブの組み立て



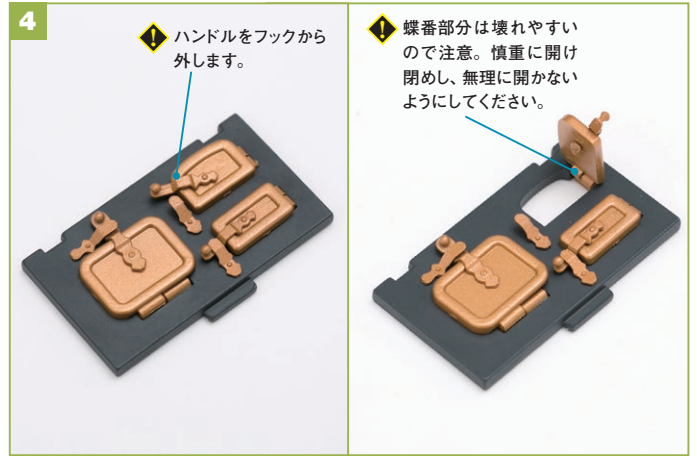
⑫前板は、ドアに回転するハンドルがついていて、ハンドルをフックに引っかけます。右写真が正しい状態です。左写真のように、フックの端が大きく下がっている場合は、正しい状態になるようにフックを固定していきます。



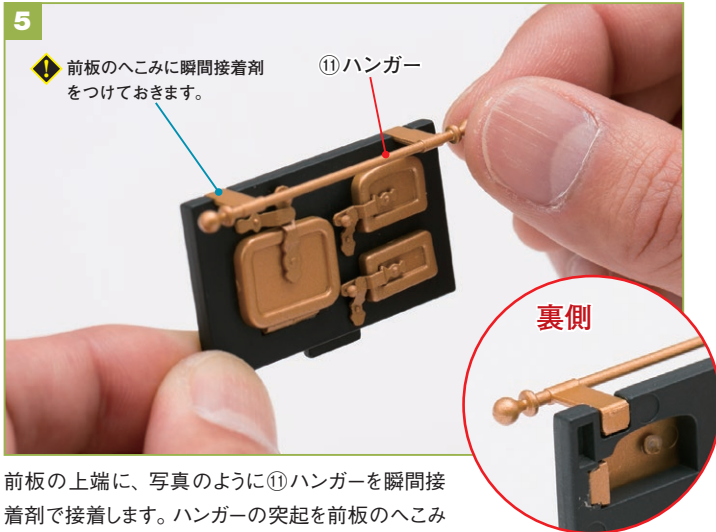
まず左写真のように、前板の裏側のフックの位置に、ようじの先などを使って少量の瞬接着剤をつけます。接着剤が乾く前に、**1**で確認した正しい状態になるようにピンセットなどでフックを押さえ、接着剤を乾燥させます。



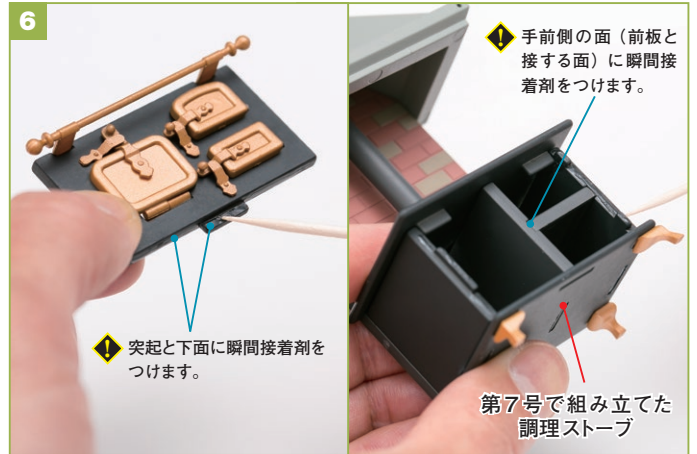
残り2カ所(赤矢印部分)のフックも確認し、正しくない場合は1、2の要領で調整して、瞬間接着剤で固定します。



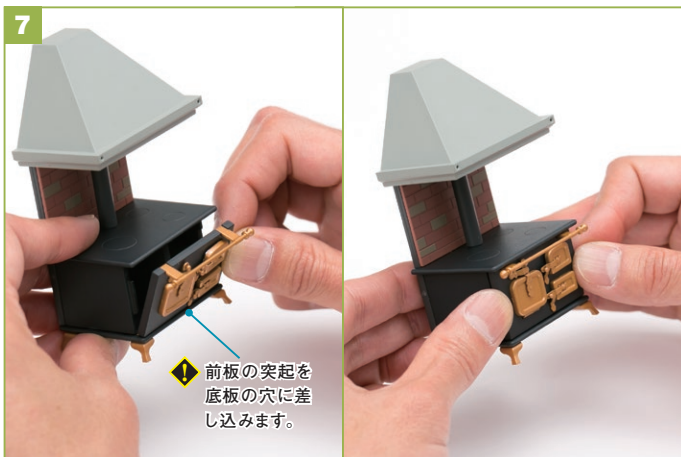
ドアの開閉を確認します。ハンドルを回してフックから外し、ドアを開きます。ドアの蝶番部分は繊細で壊れやすいので、慎重に開け閉めし、無理に開かないようにしてください。



前板の上端に、写真のように⑪ハンガーを瞬間接着剤で接着します。ハンガーの突起を前板のへこみにかみ合わせてください。



7を参照して、第7号で組み立てた調理ストーブと前板の組み合わせ方を確認します。接着面になる前板の突起や下面、第7号で組み立てた調理ストーブの手前側の面に瞬間接着剤をつけます。



接着剤が乾く前に前板を組み合せます。前板の下側の突起を底板の穴に差し込んでから(左写真)、押しつけます(右写真)。接着剤が乾いたら完成です。



調理ストーブの完成です。後の号では、使い古した風合いを加えて、より生活感が感じられるように仕上げる方法を紹介いたします。

✿ 保管のポイント

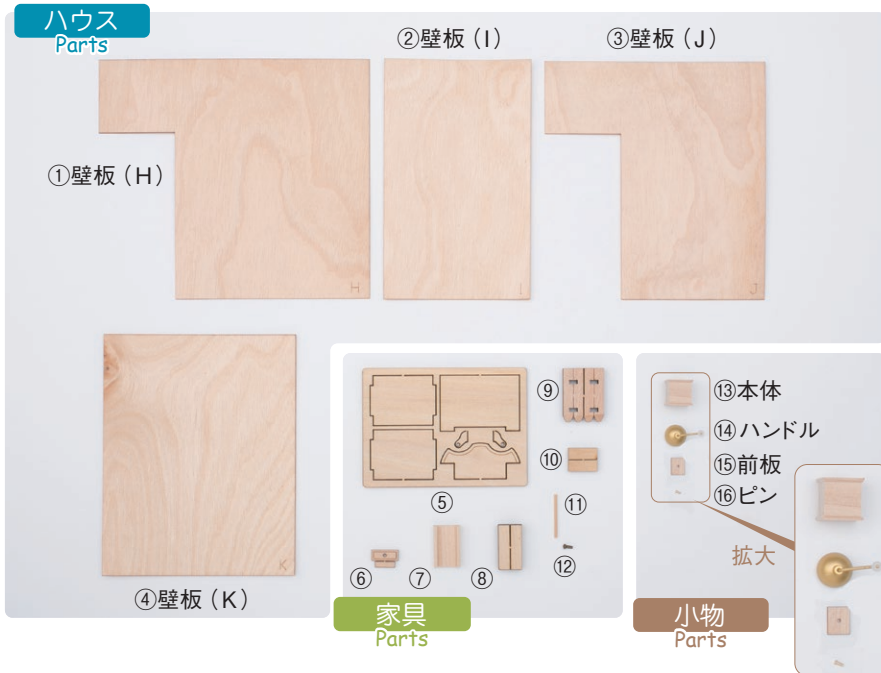
組み立て前や組み立て途中のハウス・家具パーツは、エアキャップなどにくるんで、個別に箱に入れるなどして保管するとよいでしょう。



1階の壁板とキッチンデスク、コーヒーミルを組み立てる



<http://deagostini.jp/app/moo/>



- ⑤板
- ⑥引き出し前後板
- ⑦引き出し
- ⑧横棒×2
- ⑨脚×4
- ⑩横板×2
- ⑪棒
- ⑫取っ手

使う道具

- 木工用ボンド
- 瞬間接着剤
- 紙ヤスリ (240番)
- ようじ
- 洗濯バサミ
- カッターナイフ
- カッティングマット
- キッチンペーパーなど
- 筆
- アクリル絵の具
ローシェナー (茶色)
※スターキットの色とは異なります。
- ピンセット

1階の壁板の組み立て



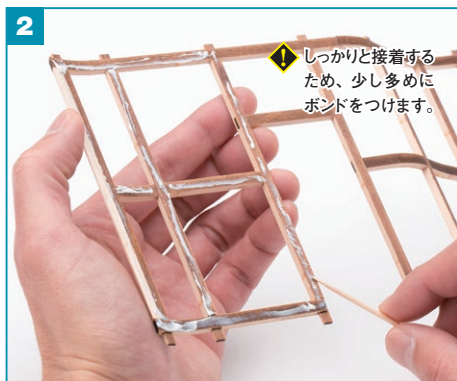
第7号で組み立てた壁枠を用意して写真の向きで持ち、左側に②壁板 (1) を当てて押さえつけ、曲面に合うか確認します。

ADVICE アドバイス 曲面に合わない場合は?



壁板が壁枠の曲面に合いにくい場合は、曲げ癖をつけておきます。まず、壁板の両面に、筆で水をつけます。

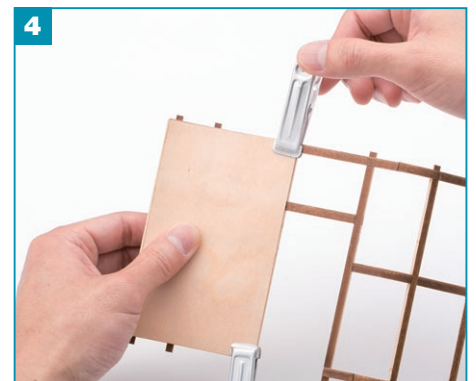
板が水を吸ったら、少しずつ力を加えながら曲げます。しばらく押さえておくと癖がつきます。力を入れすぎると割れるので注意してください。乾かしてから組み立てます。



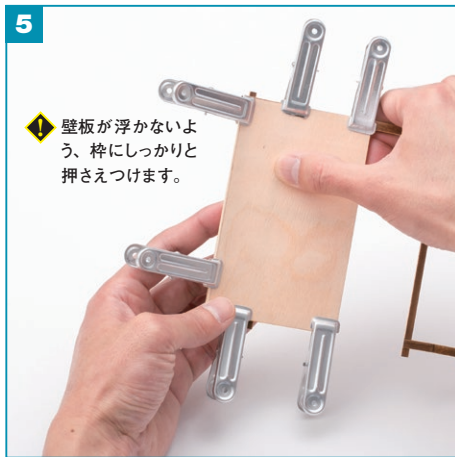
壁板が壁枠に合うことを確認したら、ボンドで接着します。まず、壁枠にまんべんなくボンドをつけます。



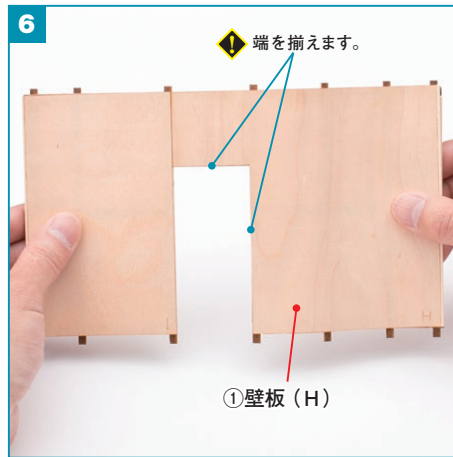
ボンドが乾く前に、②壁板 (1) を貼ります。内側の端を揃えて貼りはじめます。



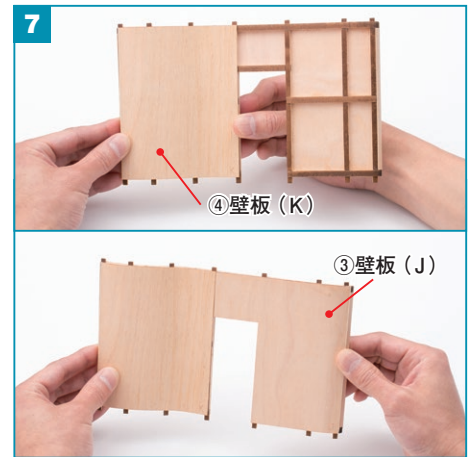
内側から半分ほどまで、壁板を枠に押さえつけながら貼ったら、写真のように洗濯バサミなどで押さえ固定します。クリップでも構いませんが、壁板に傷をつけないように注意してください。



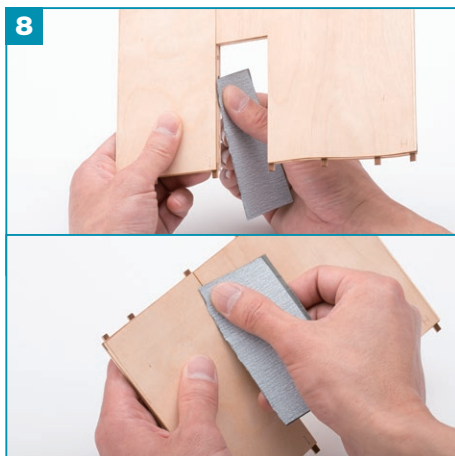
所々を洗濯バサミなどで固定しながら、端まで貼っていきます。ボンドが乾くまで、壁板が浮かないよう、枠にしっかりと押さえつけておきます。



1～5と同じ要領で、壁枠の右側に、①壁板 (H) をボンドで貼ります。



壁枠を裏返し、向かって左側に④壁板 (K) を(上写真)、右側に③壁板 (J) を(下写真)、それぞれボンドで貼ります。



壁の中央の開口部には、後の号で扉を収めます。壁板がはみ出している場合は、紙ヤスリをかけます(上写真)。また、壁板の継ぎ目に段差がある場合も、紙ヤスリをかけて削ります(下写真)。

今号の
完成

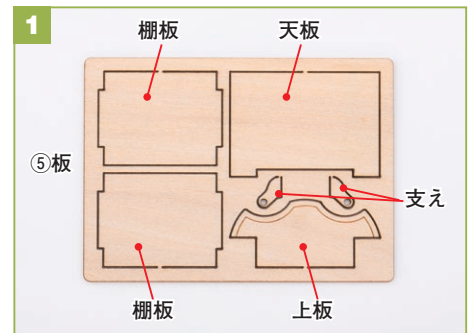


後の号で壁紙を貼って仕上げます。

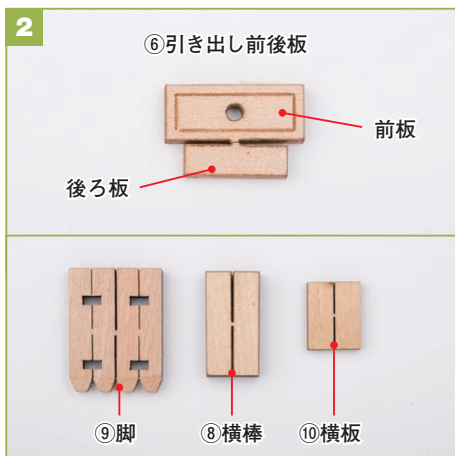


家具
Parts

キッチンデスクの 組み立て



⑤板の継ぎ目をカッターナイフで切って、各パーツを外します。切り口は、紙ヤスリをかけて平らにします。



同様に、⑥引き出し前後板と(上写真)、⑧横棒、⑨脚、⑩横板も切り分けます(下写真)。



木製パーツ(⑦、⑪を除く)の厚みには、成型の際の焦げ目があります。着色すると焦げ目が残るので、紙ヤスリをかけて取り除きます。ヤスリをかける際は、上写真のように平らな面にヤスリを敷き、均等な力で押さえつけながらかけるのがコツです。



③のようにヤスリをかけて、写真の各パーツの焦げ目を取り除きます。一度、⑨～⑰を参照してパーツの組み立て方を確認してください。接着面をはじめ、組み立て後に見えなくなる部分は、焦げ目が残っていても大丈夫です。



あらかじめ巻末の「着色のきほん」を見ておきましょう。



同様に、残りの各パーツの焦げ目も取り除きます。上板の曲面は、上写真のように紙ヤスリを曲げるのがコツです。



木製パーツを着色します。水2に対して絵の具ローシェナー（茶）1の割合を目安によく混ぜ合わせ、均一にします。不要な割り箸などに塗り、色合いを確認するとよいでしょう。絵の具を筆に取り、天板に塗ります。



絵の具がつきすぎた場合はキッチンペーパーなどで取り除き（上写真）、薄い場合は乾いてから再度塗って濃くします。下写真のように、パーツの厚みも忘れずに着色しましょう。

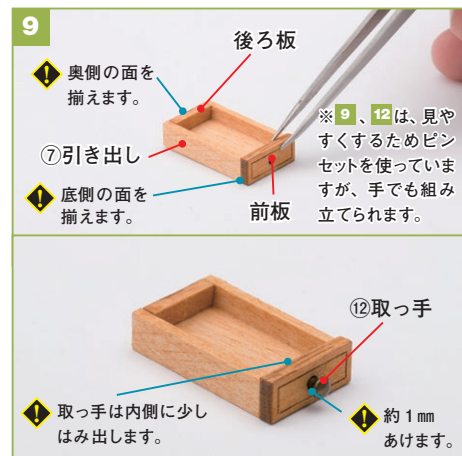


※コーヒールも同じ絵の具で着色します（53ページ1参照）。この段階で、⑬本体、⑮前板を着色しておくとお効率的です。

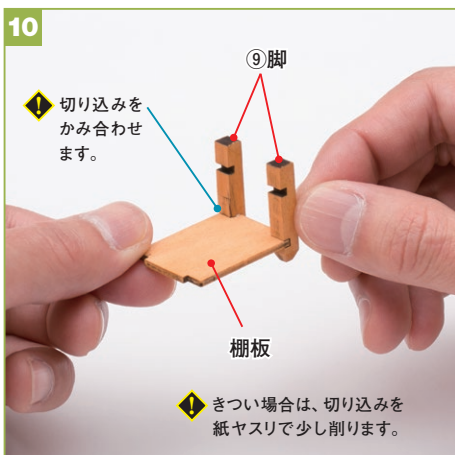
6～7と同じ要領で、すべての木製パーツ（⑤～⑪）を着色します。

ADVICE アドバイス 細かなパーツは持ち手をつくとスムーズ

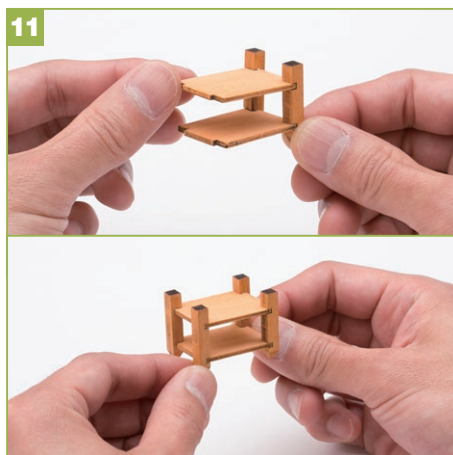
細かなパーツは、持ち手をつくと塗りやすくなります。写真では、不要な段ボールを切って折り曲げ、両面テープで各パーツを仮止めています。



⑦引き出しの前後に、上写真のように前後の板をボンドで接着します。次に、⑫取っ手の端に少量の瞬間接着剤をつけてから、前板の穴に差し込みます（下写真）。



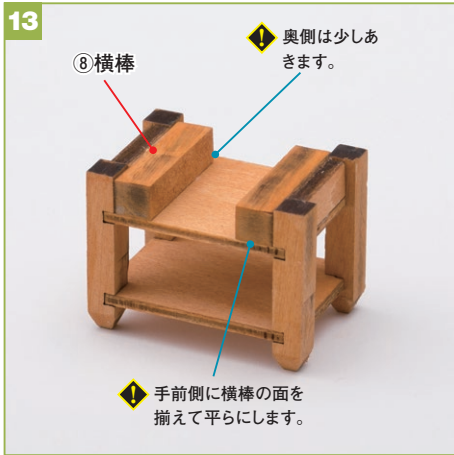
棚板の片側の切り込みに、⑨脚を2本、ボンドで接着します。



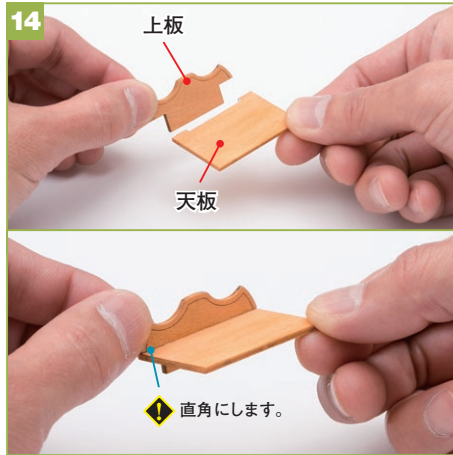
同じ要領で、脚の上段の切り込みにもう1枚の棚板をボンドで接着し（上写真）、反対側に残り2本の脚をボンドで接着します（下写真）。



左右の脚の間に⑩横板を、写真のようにボンドで接着します。



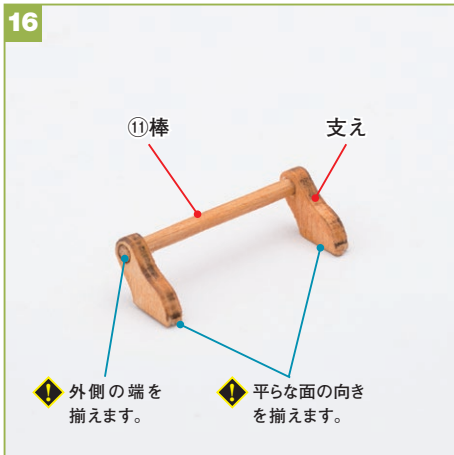
上段の棚板の左右に、⑧横棒をボンドで接着します。



写真のように、天板の切り込みに上板をかみ合わせてボンドで接着します。



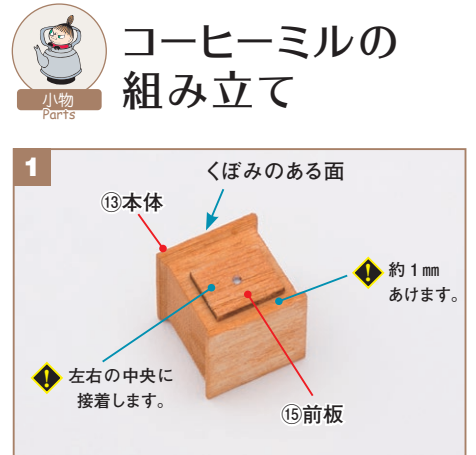
13で組み立てたブロックに、14で組み立てた天板をボンドで接着します。



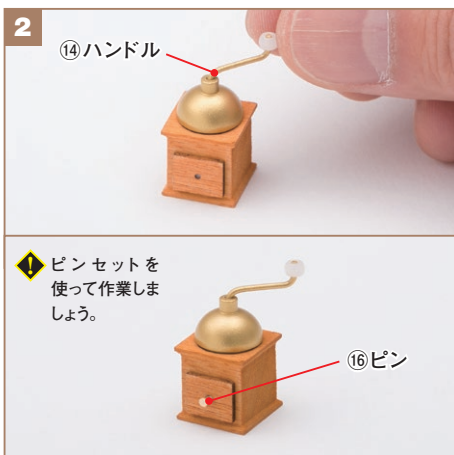
⑪棒の左右に、支えをボンドで接着します。



15で組み立てたブロックを写真の向きで持ち、向かって左側の脚に16で組み立てたブロックをボンドで接着します。開口部に9の引き出しを入れて完成です。



3～7と同じ要領で、⑬本体、⑮前板を着色してから、本体の側面に前板をボンドで接着します。



本体上部の円形のくぼみに、⑭ハンドルを瞬間接着剤で接着します(上写真)。⑯ピンの端に少量の瞬間接着剤をつけ、前板の穴に差し込みます(下写真)。



STEP UP! 使い古した質感を加えてより重厚に

キッチンデスクは、天板の角などに紙ヤスリをかけ、少し絵の具を落として丸みをつけると、使い古した質感が加わります。

また、第5号35ページで紹介したツヤ出しのためのニス(グロスワニス)を塗ると、少しツヤが出て重厚感が増します。ツヤが出すぎないように注意してください。

✿ 保管のポイント

組み立て前や組み立て途中のハウス・家具パーツは、エアキャップなどにくるんで、個別に箱に入れるなどして保管するとよいでしょう。



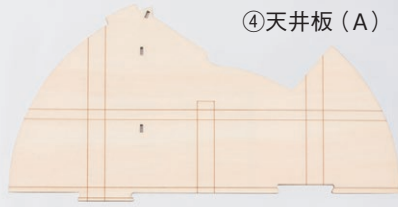
1階の壁紙、天井を組み立てる

ハウス Parts

①壁紙 (A)



④天井板 (A)



②壁紙 (B)



③壁紙 (C)



⑤天井板 (B)



小物

⑥ランプ

使う道具

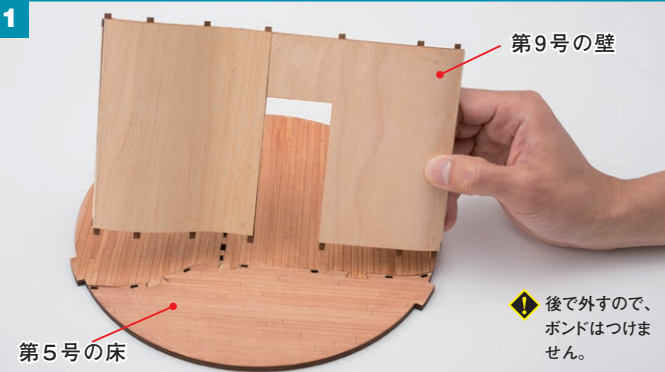
- シャープペンシル (鉛筆)
- 三角定規
- 紙ヤスリ (240番)
- カッティングマット
- カッターナイフ
- 木工用ボンド
- 筆
- アクリル絵の具 (第5号付属スターキット、バートアンバー)
- 絵皿 (紙皿でも可)
- ようじ
- 洗濯バサミ
- マスキングテープ



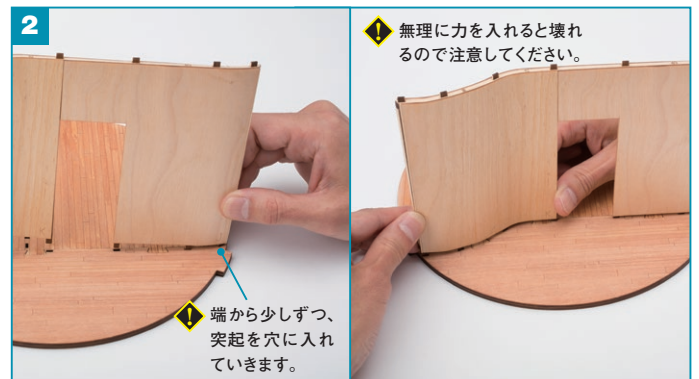
<http://deagostini.jp/app/moo/>



1階の壁紙、天井の組み立て



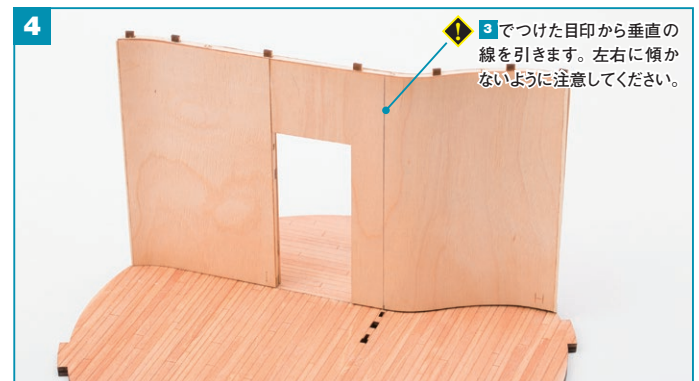
第5号で組み立てた床を用意し、写真の位置に第9号で組み立てた壁を仮組みします。ボンドをつけずに、壁の下側の突起を床の穴に差し込んでいきます。



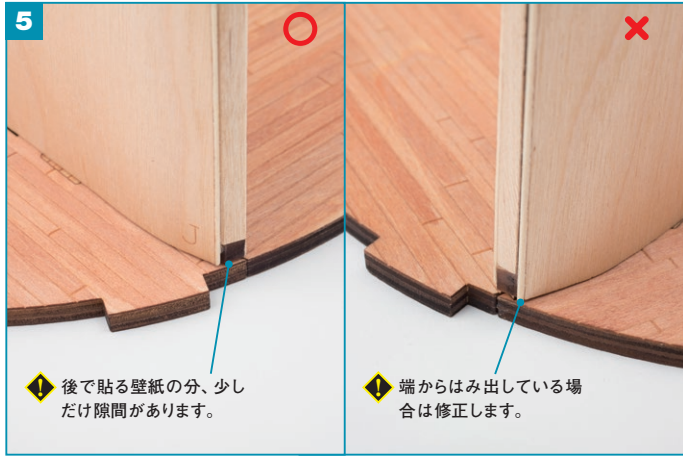
壁の突起を床の穴の位置に合わせ、端から少しずつ差し込んでいきます (左写真)。反対端は、壁をしなせながら突起と穴の位置を合わせるとよいでしょう (右写真)。無理に力を入れると壊れるので注意してください。



56ページの13~14を確認してください。左右で異なる壁紙を貼るので、壁に目印線を引きます。まず、床の写真の位置の穴、幅の中央の位置で、壁に目印をつけます。



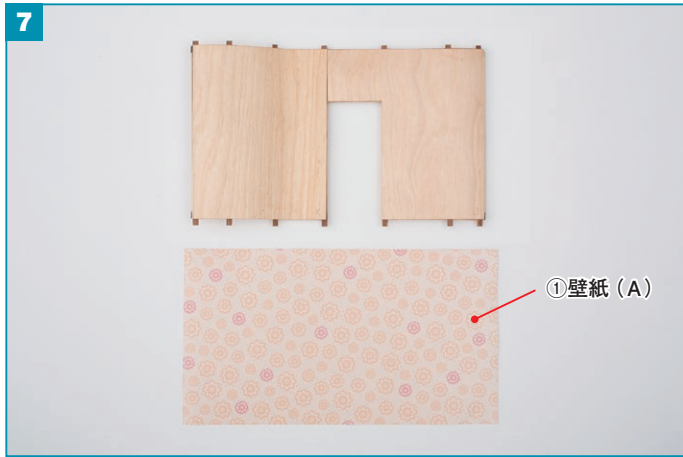
三角定規などを使って、3でつけた目印から垂直の線を壁に引きます。



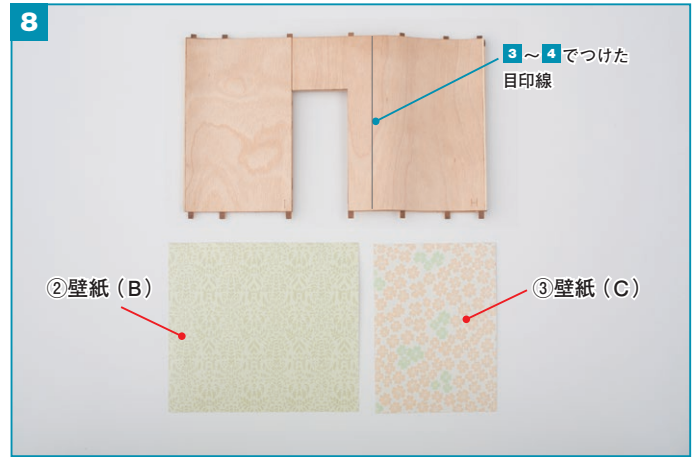
壁の左右の端を確認します。左写真のように、壁と床の端に少しだけ隙間ができます。後で壁紙を貼るための隙間です。右写真のように、壁の端からはみ出している場合は修正します。確認したら壁を外します。



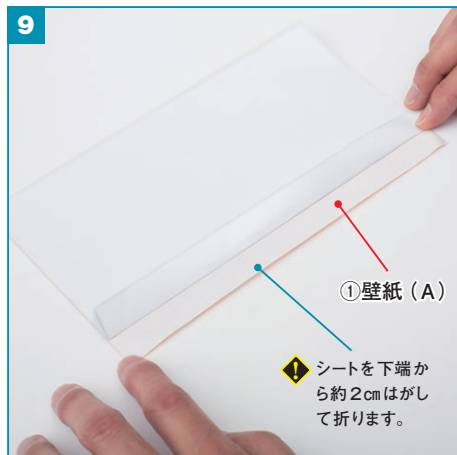
壁が床の端からはみ出している場合は修正します。壁を外し、紙ヤスリをかけて削ります。



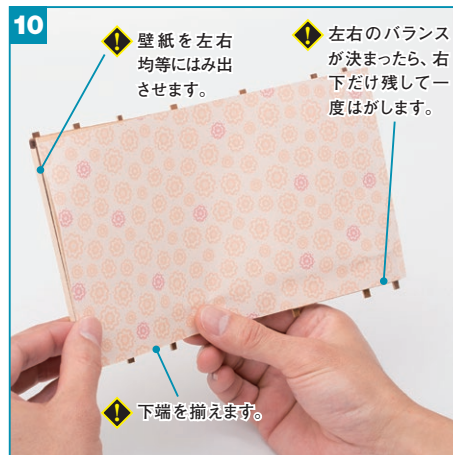
壁紙の貼り方を確認します。写真の壁の面には、①壁紙(A)を貼ります。



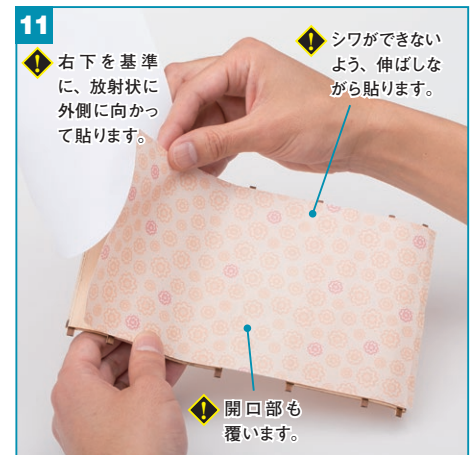
壁の反対側の面(3~4で目印をつけた面)には、②壁紙(B)と③壁紙(C)を貼ります。



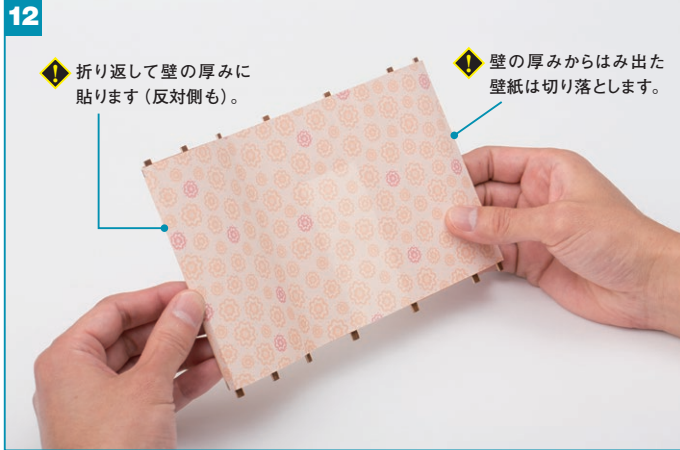
7の①壁紙(A)から貼ります。まず、壁紙の裏面のシートを下端から約2cmほどはがして折り返します。



9でシートをはがした端を壁の下端に揃えて貼り、左右のバランスを決めます。左右は均等にはみ出させてください。左右のバランスが決まったら、右下だけを残して一度はがします。



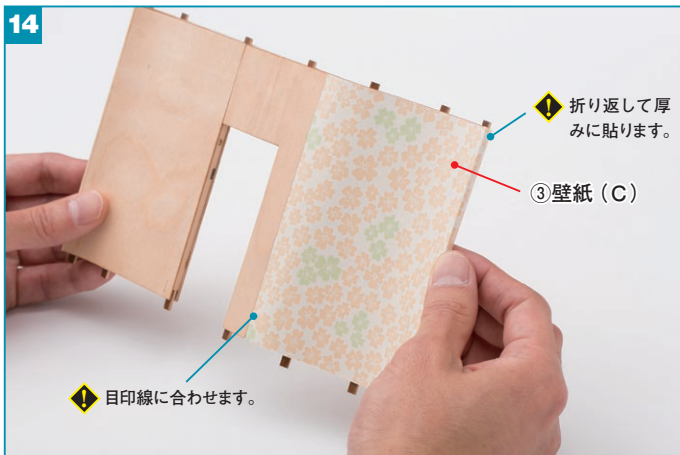
壁紙の右下を基準にし、裏面のシートをはがしながら、放射状に外側に向かって貼っていきます。シワができないように伸ばしながら貼ってください。



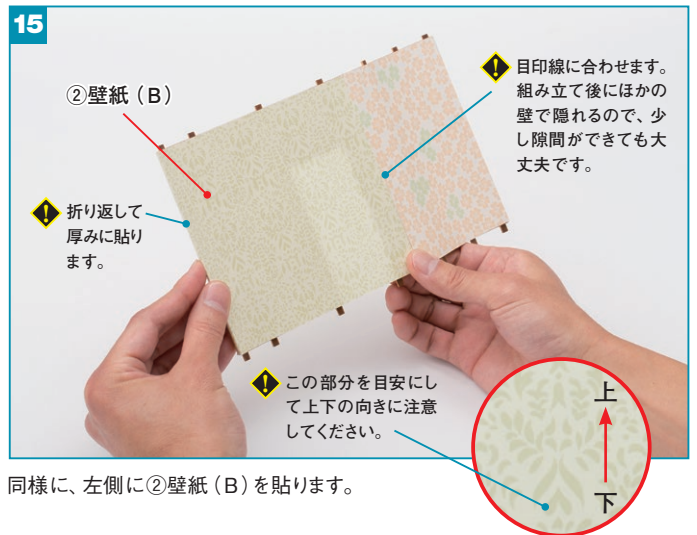
両側からはみ出た壁紙は、折り返して壁の厚みに貼ります。



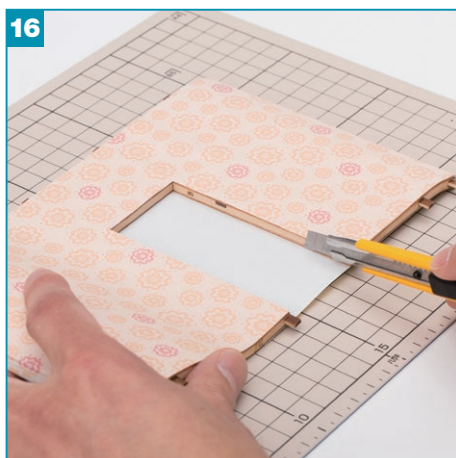
壁を裏返し、開口部の壁紙をカッターナイフで切ります。写真のように、開口部の端に沿わせてカッターナイフを垂直に当て、何度も軽く線を引くようにして切ります。



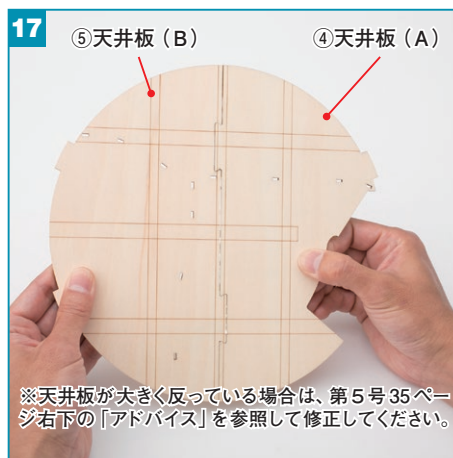
反対側の面に壁紙を貼ります。9～12と同じ要領で、右側に③壁紙(C)を貼ります。左端を3～4でつけた目印線に合わせ、右端は折り返して壁の厚みに貼ります。



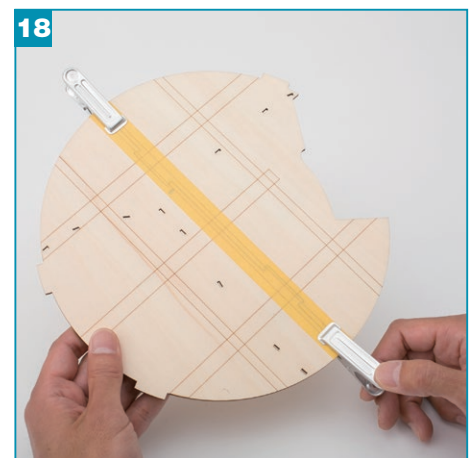
同様に、左側に②壁紙(B)を貼ります。



13と同じ要領で、開口部の壁紙をカッターナイフで切ります。



④天井板(A)と⑤天井板(B)を接着します。接着面にボンドをつけてから、写真のように突起と切り込みをかみ合わせ、はみ出たボンドを取り除きます。



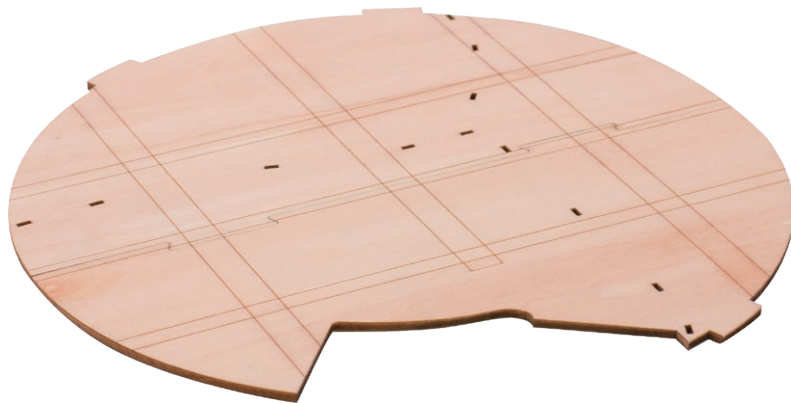
ずれないように継ぎ目にマスキングテープを貼り、端を洗濯バサミなどで押さえてボンドを乾燥させます。

19



⚠ 模様がある面に塗ります。反対側の面は塗りません。

第5号付属の絵の具パートアンバー（茶色）を約10倍の水で溶き、天井板の模様がある面に塗ります。塗り方は第5号の1～5と同様です。



天井には、後の号で梁を接着します。

今号の
完成

壁板は床板と組み合わせて保管しておくといでしょう。ただし、まだ接着はしないでください。



✿ 保管のポイント

組み立て前や組み立て途中のハウス・家具パーツは、エアキャップなどにくるんで、個別に箱に入れるなどして保管するといでしょう。